



## 平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年7月31日

上場会社名 日本調剤株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3341 URL <http://www.nicho.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三津原 博  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 鎌田 良樹 TEL 03-6810-0800  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	58,346	7.1	2,184	34.8	2,090	35.2	1,122	14.5
29年3月期第1四半期	54,476	11.4	1,620	△21.1	1,545	△18.5	981	△19.7

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 1,124百万円 (15.7%) 29年3月期第1四半期 971百万円 (△24.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	70.21	—
29年3月期第1四半期	61.34	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	185,572	37,171	20.0
29年3月期	178,347	36,447	20.4

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 37,171百万円 29年3月期 36,447百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	25.00	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	113,606	3.8	4,251	7.9	4,115	9.7	2,231	△4.6	139.53
通期	234,697	5.0	10,105	18.6	9,804	22.9	5,639	21.6	352.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	16,024,000株	29年3月期	16,024,000株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	29,548株	29年3月期	29,448株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	15,994,485株	29年3月期1Q	15,994,905株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現在入手している情報による当社の判断及び仮定に基づく予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。またその達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因により、これら業績予想等とは大きく異なる結果となる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年4月～6月)において、6月に「経済財政運営と改革の基本方針2017」が公表され、社会保障の分野についても“主なポイント”の一つとして多くの施策などが掲げられました。具体的には、地域医療構想の実現、薬価制度の抜本改革、患者本位の医薬分業の実現に向けた調剤報酬の見直し(対物業務評価の適正化と対人業務評価の重視)、薬剤の適正使用など多岐に亘ります。ジェネリック医薬品については、従来“平成32年度末までのなるべく早い時期”とされていた数量ベースの使用割合目標の達成時期を“平成32年9月”に前倒しするとともに、“できる限り早期に達成できるよう更なる使用促進策を検討する”ことが明記されました。当社グループでは国の施策の方向性を見定め、各事業を強力に推進した結果、増収増益の実績をあげることができました。具体的な数値につきましては、売上高58,346百万円(前年同期比7.1%増)と増収となり、利益面は、営業利益2,184百万円(同34.8%増)、経常利益2,090百万円(同35.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,122百万円(同14.5%増)と増益となりました。

[各事業のセグメント別概況]

## ①調剤薬局事業

同事業では、当第1四半期連結累計期間において8店舗を新規出店し、1店舗を閉店いたしました。この結果、当第1四半期連結会計期間末時点での総店舗数は564店舗(物販専業1店舗を含む)となりました。売上高については、49,387百万円(前年同期比7.6%増)となりました。C型肝炎治療薬の前年同期比減少の影響が大きく、一桁の増収にとどまりましたが、C型肝炎治療薬を除いたベースでは前年同期比10%を超える増収率を確保しております。積極的なM&Aへの取り組みを始めとした新規店舗の増加及び前年出店店舗の売上寄与に加え、改定の翌年度における処方せん単価の上昇などが主な要因です。一方、利益面においては、かかりつけ薬剤師制度への取り組み強化などにより調剤報酬の改善が進み、営業利益2,511百万円(同70.2%増)と大幅な増益となりました。

なお、国が平成32年9月までに80%とすることを目標として掲げているジェネリック医薬品の数量ベース使用割合は、当社では6月末時点で全社平均83%に達しております。

## ②医薬品製造販売事業

同事業では、当第1四半期連結累計期間において、売上高は9,407百万円(前年同期比0.2%増)と増収とはなりましたが小幅な伸びにとどまりました。一方、利益面については、メーカー間の価格競争の影響に加え、自社製品の増強に向けた積極的な研究開発に伴う費用の増加もあり、営業利益318百万円(同57.3%減)と減益となりました。なお、当第1四半期連結累計期間の期初計画については前期後半からの厳しい収益環境等を踏まえたものであり、実績は概ね計画どおりでした。

当第1四半期連結会計期間末での販売品目数は、6月に新製品17品目を発売したことなどにより628品目となりました。

## ③医療従事者派遣・紹介事業

同事業では、薬剤師を中心に医療従事者に対する派遣・紹介の需要は引き続き拡大しております。薬剤師の派遣に加え、紹介の件数も大きく増加傾向にあります。紹介の場合においても、求職者との対面カウンセリングにより、求人先とのマッチングクオリティを重視した取り組みを進めております。これらの結果、当第1四半期連結累計期間におきましては、売上高は3,107百万円(前年同期比20.0%増)、営業利益は601百万円(同36.7%増)と引き続き高い水準での実績となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は185,572百万円となり、前連結会計年度末に対して7,224百万円、4.1%増加いたしました。流動資産は88,677百万円となり、前連結会計年度末に対して6,349百万円、7.7%の増加となりました。主な要因としては、現金及び預金の増加等であります。固定資産は96,894百万円となり、前連結会計年度末に対して874百万円、0.9%の増加となりました。

負債は148,400百万円となり前連結会計年度末に対して6,499百万円、4.6%の増加となりました。主な要因としては、買掛金の増加等であります。

純資産は37,171百万円となり前連結会計年度末に対して724百万円、2.0%の増加となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年4月28日に公表いたしました平成30年3月期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	21,200	25,402
受取手形	73	135
売掛金	26,698	25,901
電子記録債権	872	940
商品及び製品	21,455	23,625
仕掛品	2,509	2,458
原材料及び貯蔵品	5,550	5,704
その他	3,975	4,517
貸倒引当金	△7	△9
流動資産合計	82,327	88,677
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,303	22,645
土地	18,016	18,166
建設仮勘定	13,521	12,008
その他(純額)	14,671	15,387
有形固定資産合計	68,513	68,208
無形固定資産		
のれん	14,605	15,800
その他	2,167	2,194
無形固定資産合計	16,773	17,994
投資その他の資産		
投資有価証券	1,039	1,014
敷金及び保証金	7,072	7,060
その他	2,621	2,616
投資その他の資産合計	10,733	10,691
固定資産合計	96,019	96,894
資産合計	178,347	185,572

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	38,909	43,779
電子記録債務	2,124	2,190
短期借入金	-	1,400
1年内返済予定の長期借入金	13,411	13,221
未払法人税等	1,537	1,424
賞与引当金	2,547	1,403
役員賞与引当金	117	-
その他	7,657	9,495
流動負債合計	66,305	72,915
固定負債		
長期借入金	70,678	70,670
役員退職慰労引当金	949	973
退職給付に係る負債	1,294	1,341
その他	2,672	2,499
固定負債合計	75,595	75,485
負債合計	141,900	148,400
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,953	3,953
資本剰余金	10,926	10,926
利益剰余金	21,511	22,234
自己株式	△46	△46
株主資本合計	36,345	37,068
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	263	246
退職給付に係る調整累計額	△161	△142
その他の包括利益累計額合計	101	103
純資産合計	36,447	37,171
負債純資産合計	178,347	185,572

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	54,476	58,346
売上原価	45,248	47,693
売上総利益	9,228	10,652
販売費及び一般管理費	7,607	8,468
営業利益	1,620	2,184
営業外収益		
受取手数料	34	37
受取賃貸料	94	104
保険返戻金	69	-
その他	46	55
営業外収益合計	246	197
営業外費用		
支払利息	186	169
支払手数料	5	4
支払賃借料	75	79
その他	53	37
営業外費用合計	320	291
経常利益	1,545	2,090
特別利益		
固定資産売却益	3	0
特別利益合計	3	0
税金等調整前四半期純利益	1,548	2,090
法人税、住民税及び事業税	779	1,389
法人税等調整額	△212	△422
法人税等合計	567	967
四半期純利益	981	1,122
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	981	1,122

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	981	1,122
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△26	△17
退職給付に係る調整額	16	19
その他の包括利益合計	△9	1
四半期包括利益	971	1,124
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	971	1,124
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結損 益計算書計上 額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	45,909	6,130	2,436	54,476	-	54,476
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3	3,257	152	3,412	△3,412	-
計	45,912	9,387	2,588	57,889	△3,412	54,476
セグメント利益又は損失(△)	1,475	744	440	2,660	△1,040	1,620

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△1,040百万円にはセグメント間取引消去18百万円及び全社費用△1,058百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結損 益計算書計上 額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	49,384	5,987	2,974	58,346	-	58,346
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3	3,420	132	3,555	△3,555	-
計	49,387	9,407	3,107	61,902	△3,555	58,346
セグメント利益又は損失(△)	2,511	318	601	3,431	△1,246	2,184

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△1,246百万円にはセグメント間取引消去△78百万円及び全社費用△1,168百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。